

協働事業報告書

【事業名】	多世代交流事業		
市担当課	高齢者いきいき課		
団体名	The 和み Space Connected		
事業実施期間	令和 7 年 (2025年) 9月12日 ~ 令和 8 年 (2026年) 3 月 31 日		
事業費	400,000 円	負担金額	377,813 円
事業目的	・高齢者の健康増進や生きがいづくりが増進されること ・高齢者の社会参加を促し、生きがいを高めるとともに、若年層やミドル世代の視野を広げ、地域や長寿社会に対する関心・理解を深めること 【達成できた点】 料理サロン、スマホサロンともに、とても賑やかで参加者の中には「次回はいつか?」と聞くこともあるほどであった。「いつもは何もしないので、この時を楽しみにしていた。」「今日は楽しかったから張り切るわよ。」等の声を聞くこともでき、シニアの生きがいづくりや社会参加、心身の健康を増進したと伺えた。 また、有償ボランティアとして参加した若年層や団体のミドル世代もやりがいを感じ、同じ市民として地域やシニアとの関わりに関心・理解が深まり、良い機会となった。 【達成できなかった点】 賑やかになってしまったときに、マイクがあれば聞こえやすかった。		
事業の成果目標 (数値目標)	・料理サロン(2 回実施予定): 定員上限である各日 15 人の参加を目標とする。 ・スマホサロン(4 回実施予定): 各日 10 人の参加者を目標とする。 【実績】 ・料理サロンを 2 回実施し、計 30 名が参加した。(2 回目は定員を超える申込みあり) ・スマホサロンを 4 回実施し、各日 15 名×4 回=60 名が満席となる。(当日不参加、計 9 名)		
事業概要	・料理サロン、スマホサロンを開催する。 ・料理サロンでは料理初心者も楽しみながら作れる若年層に人気の料理を作る。また、別の会では、団体と交流のあるブルガリア人を講師に招き、海外で定番の料理を作る。 ・スマホサロンでは、団体が実施するスマホサロンで質問されることの多い内容をテーマに取り上げ、少人数のグループに分かれ、スマホの使い方を学びながら交流を図る。		
事業実施の実績	【実績】 ○市の役割 サロン参加者の申込み受付 事業周知(広報かまくら・広報板・市公式 SNS での発信、公共施設へのチラシ配布等) ○市民活動団体の役割 料理サロンとスマホサロンの企画・運営、チラシ作成及び配架、アンケート作成、会場の予約 ○具体的にやったこと・時期 料理サロン ・第 1 回“若い世代が楽しむ簡単料理で世代間交流” <u>10月23日 10:30~13:00(鎌倉市福祉センター調理室)</u> 高齢者 12 名参加。スタッフ(20代~50代) 8 名。 ソフトシェル・タコスとコンソメスープを作った。レタスやトマト、チーズを用意、アボカドディップ、チリビーンズなどを作り、バイキング形式で好きなものを入れられるようにし、簡単にできる楽しい料理づくりを通して交流を図った。 ・第 2 回“海外の料理を本場から学ぶ多世代異文化交流” <u>2月10日(11月27日延期) 10:30~13:00(玉縄学習センター調理室)</u> 高齢者 18 名参加。スタッフ(20代~50代) 10 名。 ブルガリア人講師とブルガリア家庭料理であるパプリカの肉ライス詰め、タラートルスープ、ヨーグルトのデザートを作った。初めて作る料理に参加者は興味深々の様子で、ヨーグルトの新しい使い方もわかり、発見の多い異文化交流のできる世代を超えた料理サロン		

になった。

スマホサロン

・第1回スマホサロン:LINEについて

12月15日 13:20~14:20、懇親会14:50まで(大船学習センター)

参加者 12 名

・第2回スマホサロン:地図アプリについて

1月22日 13:20~14:20、懇親会14:50まで(鎌倉生涯学習センター)

参加者 11 名

・第3回スマホサロン:写真の撮り方、アルバムの整理の仕方について

2月3日 13:20~14:20、懇親会14:50まで(玉縄学習センター)

参加者 13 名

・第4回スマホサロン:LINEについて

3月5日 13:20~14:20、懇親会14:50まで(腰越学習センター)

参加者 15 名